

彩の合気

編集発行
埼玉県合気道連盟

埼玉県合気道連盟機関紙創刊号

ご挨拶



副会長 中島 正吉
埼玉県合気道連盟の発足以来満14年を迎える事ができましたのは、(財)合気会、連盟の役員、会員のご協力の賜と心から感謝申し上げます。

ここに連盟発足の経過をふり返ると、昭和57年12月12日、浦和市労働会館で設立総会が開催され、連盟の第一歩を踏み出しました。

発足迄は、前副会長の越谷の石井知章氏に大変ご尽力を頂き、厚く御礼を申し上げます。

総会に先立ち、県下合気道の団体・道場等を調査し、加入を呼びかけ、一応9団体で出発いたしました。総会では規約の外に、目標として

- ①県体協への加入、②未加入団体への加入呼びかけ、③講習会の開催、④県下合気道の情報交換
- 四つ実現に努力する事の申し合わせを致しました。

以来、着実に少しづつ発展いたし、県内外に連盟の存在を認められつつあるのは、大変嬉しい所があります。

又、県下各地に行われる演武会に相互に招待され、その後の懇親会などを通じて情報と友情を深めました。

合気道も、この20年間前後で内外に大きく発展して、一方では武道関係で重要な位置を占める所に迄生長したと思います。

今後は、県の合気道連盟という組織を通じて、お互いに切磋琢磨し、親睦を密にして、合気道の発展の為に、さらに努力したい覚悟であります。

最後に、会員各位のご発展とご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

創刊号に当たって

埼玉県合気道連盟も創設以来15周年を迎えようとしております。加盟団体も、設立時の9団体から現在は20団体に増え、連盟としての行事も年々充実してきております。

又、各加盟団体独自の行事も数多く行われており、近隣道場が相互に参加、協賛して活動しております。

その様な行事予定を、この機関紙を通じて広報し、更に多くの道場間の交流を密にする一助になれば幸いです。

この機関紙は、今後埼玉県合気道連盟の歴史を記録するものともなり、記念誌作成の際の貴重な資料となれるような内容にしたいと思います。

会員各位におかれましては、本機関紙の発行に関して、絶大なるご協力をお願い致します。(市塚)

埼玉連盟主要行事

1. 平成8年度定期総会

6月1日の定期総会で役員改選があり、下記の体制となりました。

- 会長 土屋 義彦
- 副会長 中島 正吉、牧野 竹典
- 理事長 市塚 勇
- 事務局長 藤田 潤一
- 相談役 石井 知章

2年間、宜しくバックアップお願い致します。

2. 埼玉連盟少年錬成会

4月14日(日)、上尾スポーツ研修センターで、第11回少年錬成会が開催された。

桶川愛気会の牧野師範の指導による基本錬成のあと、参加道場別の稽古風景、演武の披露があった。

参加7道場、87名の少年少女が元気一杯、錬成・演武を楽しんだ。次回は自然館(吾妻師範)の担当となりますが、更に多くの参加を期待しています。



3. 埼玉連盟講習会

7月7日、狭山市総合体育館（主管・自然館）に植芝守央本部道場長をお迎えし、第14回埼玉県合気道連盟の合同講習会を実施した。

今回は、未加盟道場にも積極的に参加を呼びかけ、19団体、160余名と連盟発足以来の盛大な講習会となった。

講習会では、転換法を中心に体捌きの重要性を、実際の技の中で指導して頂きました。

講習会後の直会には70余名が参加し、道場長を囲んで和やかに懇親を深めました。

次年度の主管道場は浦和合気会となります。



加盟団体紹介〔1〕

1. 越谷市合気道連盟

越谷市合気道連盟は昭和49年に発足し、今年で23年目を迎えております。

設立の経緯は、石井会長が人を介して越谷市在住の合気会本部道場「渡邊信之」師範と知り合い、越谷市に合気道を普及し、青少年の健全育成を図りたいという師範の意志に賛同し、クラブ作りを始めた。教育委員会のご好意により、稽古場所も市立の第一体育館を借用することになり、早速、市の広報誌上で会員を募集した。入会者は経験者を含め大人、小人60余名、市役所大会議室での説明会后、渡邊師範の指導の下に本格的な稽古が開始され越谷に於ける合気道の歴史が始まる。その後、運動方針、規約、役員等が決定し、一ヵ月後に連盟の発会式を行った。一団体しか無いのに、なぜ「連盟」と称するのかという声もあったが、将来市内各地に支部を作る目的もあり「越谷市合気道連盟」とした。

昭和55年には、市立荻島公民館のスポーツ教室で合気道が取り入れられ、3ヶ月後の終了時点で「荻島合気道クラブ」が発足し、名実共に連盟となった。

今後も、渡邊師範の指導の下2団体180名の会員が一致協力し、埼玉県合気道連盟の一員として、微力ながら合気道の普及、連盟の発展に努力して参りたい。

(瀬尾)

第17回全日本合気道

主催 財合気会・全日本合気道連盟 後援 文部省・東京器教育委員会・財日本武道館



2. 人間幸武館道場

「照古鑑今」一いにしえに照らし、今をかながみる。とか「温故知新」一ふるきを温ねて新しきを知る。とか言えば随分オーバーな言い方かも知れないが、10年一昔と言えば二昔以上も前になってしまった訳だ。人間幸武館は、もともと稚蚕飼育所だった建物を昭和47年11月に、青少年育成と武道振興の為に改築され、現在に至っている。

道場名の由来は、地主でいらっしゃる中島正吉館長のご尊父様の名前が中島幸太郎様と申し上げ、その一文字を頂き命名した。道場の前は一面に茶畑が広がり、武道場としての威厳と風格を保っている。

合気道部は翌年の昭和48年4月に正式に発会する事が決定、5月に会員募集を行い、大人15名、中学生8名が集まり、早速稽古に勤しんでいった。

現在は、畳の専門スペースもありますが、当初は畳屋さんから貰った古畳のあげおろしからで、準備するのも一苦勞でありました。又、合気道を理解してもらうために、市内の運動会に参加させて貰い、演武会等も良くやったものでした。

人間幸武館道場は、中島館長を中心に、合気道の他、剣道、居合道、詩吟と、それぞれ親交を深めながら、鍛練の日々であります。

(関戸)



加盟団体の行事予定

加盟各団体の平成8年度の行事予定を提出いただき、下記の一覧表にまとめました。この時期のため、予定の大半は実施済みですが、次年度の参考になるかと思えます。尚、9年度分は次号にまとめたいと思えます。

月/日	行事名	道場名	内容
4/7	合気道自然館開館7周年記念行事	合気道自然館	礒山師範による講習会
1/4	第11回埼玉連盟少年錬成会	埼玉連盟(桶川)	上尾スポーツ研修センター
2/9	合気神社大祭参拝	(財)合気会	各道場毎に参加
5/18	第34回全日本合気道演武大会参加	(財)合気会	各道場毎に参加
3/1	少年少女合気道教室開講(20回)	合気道大宮道場	市武道館・教育委員会委嘱
6/2	第37回大宮市合気道連盟講習会	合気道大宮道場	市橋師範による講習会
9	A&P 石垣道場・本部道場開き	A&P 石垣道場	北浦和駅前
7/7	第14回埼玉連盟合同講習会	埼玉連盟(自然館)	本部道場長による講習会
19~21	防衛庁合気道夏期合宿参加-自然館	合気道自然館	一般、大学生も参加可能
8/5	全日本少年合気道錬成大会参加	(財)合気会	各道場毎に参加
15~17	桶川愛気会夏期合宿	桶川愛気会	
~	合気道健武館道場合宿	合気道健武館道場	新潟県
19~20	深谷合気道クラブ夏期合宿	深谷合気道クラブ	秩父市
23~24	大成合気道会合宿	大成合気道会	草津
—	合気道講習会	志木合気会	池田師範による講習会
9/—	合気道上福岡同好会合宿	合気道上福岡同好会	秩父市
15~16	大宮・久喜合同合宿	大宮・久喜同好会	今市市
2/9	新所沢合気道同好会10周年記念演武会	所沢市合気道連盟	所沢市民武道館
10/~	合気道市民教室	深谷合気道クラブ	10~11月で10回・ヒックタムにて
1/3	浦和合気会25周年記念演武会	浦和合気会	県立武道館にて
2/0	第38回大宮市合気道連盟講習会	合気道大宮道場	安野師範による講習会
2/7	第23回合気道演武大会	越谷市合気道連盟	渡辺師範による説明演武他
2/7	市民祭武道大会	桶川愛気会	
11/2~	市民合気道教室	入間幸武館道場	~12/7まで6回幸武館道場にて
3	第18回スポーツフェスティバル	合気道大宮道場	大宮市民体育館で合気道紹介
1/0	第25回和光支部演武会	合気道和光支部	和光市武道館
1/6	上福岡合同稽古	合気道上福岡同好会	
2/4	合気道体験教室	桶川愛気会	
2/4	市民合気道教室	深谷合気道クラブ	深谷市リクリション協会
—	特別稽古	合気道健武館道場	渡辺師範による特別稽古
12/15	第39回大宮市連盟・久喜合同講習会	久喜合気道同好会	佐々木師範による講習会
2/?	入間市武道大会に参加	入間幸武館道場	
9~	初心者のための合気道教室	所沢市合気道連盟	市民体育館・教育委員会委嘱
3/23	第9回大宮市合気道連盟演武会	合気道大宮道場	大宮市武道館にて

上記行事予定のご連絡を頂く際に、道場の近況をお寄せ頂いた道場がありましたので、次頁に載せました。各道場主催の講習会、演武会、合気道教室、合宿などの状況報告をお寄せ頂けると、この機関紙も、より充実したものとなりますので、よろしくお願ひします。

合気道和光支部

演武会も盛大に開催でき、部員一同ほっと一息ついています。

少年部の入部申込みが増えて、今はお断りしているような状況です。2年程前は集まらなくて困っていたのが、うそのようです。木曜の夕方の川路師範が一人で30人の子供をみているような状況を何とかしたいと思っています。

市の体協への準会員としても認められるようになりました。市のイベントへの協力で、少し稽古ができないことが難ですが、がんばってやる覚悟をしています。(向笠)

合気道健武館道場

埼玉県の最北にあり、また本線(高崎線)の駅に出るにも時間を要する様な場所であり、会員数も少なく、皆様にはご迷惑をお掛けして申し訳なく思っております。

執行部の皆様には、熱意のある活動に深く感謝申し上げます。(須野原)

深谷合気道クラブ

平成8年11月現在の会員数は32名です。

深谷合気道クラブが設立されたのは、平成5年12月ですから、丁度3年が経過する所です。来年の昇級審査会において、第一期生8名が落伍者なしで待望の黒帯昇段を目指して稽古に励んでおります。

まだまだ発足して間もない合気道クラブですが、深谷市に合気道の根を大きく張って、大樹に育てて参りたいと会員一同願っております。

以上今後ともよろしくお願い申し上げます。

(本橋)

関節可動域

大宮道場 佐藤 行一
一教、二教、三教で相手の腕を押さえると、関節の固いや柔らかい人がいる。固い人を押さえて絞ると、直ぐ肩関節の限界が来てそれを補う為に体が動くようになる。これは、肩関節の可動域が狭い状態を示している。

関節可動域を英語で、range of motion といって、我々の仕事の世界(鍼灸や整体、整形外科やスポーツトレーナーなど)では、それを略してROMという。腰が痛くて曲がらないとか伸びないとか、肩が痛くて挙がらないとか、寝違いで首が廻らないなど、通常曲がる部分が曲がなくなると、運動制限は全て関節の可動域が或る方向で狭くなって制限を受けている状態を示している。

年を取るに従って体が段々と固くなり、曲がらなくなっていくが、これもROMの制限となる。

こうした老化防止に合気道は最適である。受けの場合、固め技は絞られれば苦しい面もあるが、関節を覆う筋肉がストレッチされて、結果的に関節域を拡げてもらっている。また、取りの場合、相手のROMの改善をして差し上げているという気持ちで、私は固め技の稽古をしている。

従って、皆様もお互いに、こうした気持ちで取り組めば、皆が健康増進となり、究極的には、これもまた開祖がいうところの”愛の気”に結び付くと思う。

これからの稽古は、ROMに着眼してみると大変面白いですよ！。

(本文は、大宮道場の機関紙No. 11に寄稿されたものを転載しました)

〔編集後記〕

6月1日の総会で新体制となり、広報活動強化の一環として機関紙の発行を約束しましたが、不手際で発行が遅れましたことをお詫び申し上げます。

中島副会長より創刊のご挨拶を頂きましたが、その際、連盟発足時にも情報紙発行の動きがあり、1号が発行されたとのことでしたが、その後継続されたという記録もないので、本号を機関紙・「彩の合気」(仮称)創刊号とさせて頂きました。

不慣れのため、内容、構成ともに不備ですが、会員の皆様のご叱声、ご協力を得て、より充実したものにして行きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。又、表題も仮称「彩の合気」としましたが、より適切なものがありませんでしたら、ご提案お願い致します。